

神宮前公衆トイレ



外観

デザインの由来は、ワシントンハイツの「ディペンデント・ハウス」。古き良き一軒家をイメージした親しみやすい建物は、窓やドア、素朴なガーデンフェンスのような柵など、細部まで表現されている。



外観(遠景)

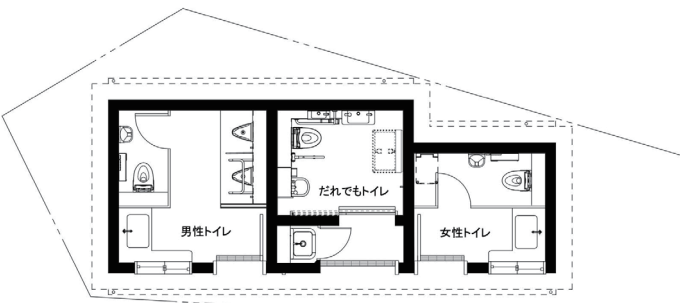
明治通り沿いにあり、周囲には高いビルが立ち並ぶ。日々変わりゆく東京とは対照的に、原宿の片隅にひっそりと建つ神宮前公衆トイレは、懐かしくも、新しくも感じられるようなデザイン。



外観(夜景)

夜間には、優しい光が軒下から外観を照らす。また、室内の明るい光が前面の歩道まであふれ、夜間でも安心してトイレを利用できる。

図面



水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)は、誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである神宮前公衆トイレは、周囲に高いビルが立ち並ぶ、明治通りの神宮前一丁目交差点に立地。トイレのコンセプトは「温故知新」。日々変わりゆく東京とは対照的に、原宿の片隅にひっそりと建つ神宮前公衆トイレは、窓やドア、素朴なガーデンフェンスのような柵など、古き良き一軒家をイメージし、親しみやすい建物となるよう細部まで表現されている。トイレを利用する方が世代によって、懐かしくも、新しくも感じられるようなデザイン。なによりトイレとしての入りやすさと使いやすさを第一に考えられており、昼夜を問わず、安心して利用することができる。

水まわりの特長

利用者はもちろん清掃員などトイレに関わる方々が気持ちよく過ごせるようにデザインされた清潔感のあるトイレは、男性・女性・だれでもトイレの3つ空間で構成されており、利用者がお互い気にならない動線上に洗面と大便器ブースが配置されている。洗面コーナーは衛生面に配慮して、スペースを広くとり、非接触で使える水栓金具を選定。衛生器具は床の清掃性に優れた壁掛式とし、大便器は壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。利用者の快適性に配慮して、すべての大便器にウォシュレットを設置している。男性トイレの小便器はマイクロ波センサー壁掛小便器セット、小便器の足元には、防汚・防臭効果のあるハイドロセラ・フロアPUを設置している。だれでもトイレにはコンパクト多機能トイレバックを設置している。

建築概要

名称	神宮前公衆トイレ
所在地	東京都渋谷区神宮前1-3-14
施主	日本財団
デザイン	NIGO®
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2021年5月
建築面積	21.85㎡
延床面積	21.85㎡
構造・階数	鉄骨造、鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS1
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPS
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A／ハイドロセラ・フロアPU:AB690G
コンパクト多機能トイレバック:UADAK21R1A1ASN2WA
ベビーチェア:YKA15R／ベビーシート:YKA25R
フィッティングボード:YKA41



男性トイレ

内装は白を基調とし、屋根の小屋組みをそのまま利用した明るく開放感のある空間。小便器はマイクロ波センサー壁掛小便器セット、小便器の足元には防汚・防臭効果のあるハイドロセラ・フロアPUを設置している。



男性トイレ



手洗いスペースを広く確保し、衛生面に配慮した洗面コーナー。大便器ブースの大便器は壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。乳幼児連れ配慮として、ベビーチェアを設置している。



女性トイレ

男女トイレ共に入口はドアレスで、パーミットグリーン色の内開きのドアが常に開いているように見えるデザイン。吹き抜け上部にはシーリングファンが設置されている。



女性トイレ

男性トイレ同様に、大便器は壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。また、利用者の快適性に配慮し、ウォシュレットアプリコットPを採用。リモコンはボタンを押すたびに発電するエコリモコンを設置している。



だれでもトイレ

さまざまな使用者に対応したスペースを確保し、車いす使用者やオストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクト多機能トイレバックを採用。乳幼児連れにも配慮し、ベビーシートを設置している。



案内図・ピクトグラム



案内板でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。